

認知症専門医 地域に

厚生労働省の調査によると、国内の65歳以上の高齢者のうち、認知症を発症している人は2012年時点で推計約462万人。前段階の軽度認知障害は推計約400万人で、65歳以上の4人に1人が認知症か予備軍となっている計算だ。

今後さらに認知症患者の増加が見込まれるため、福井大と金沢大、金沢医科大学、富山大の北陸4大学が地域の診療・対策のリーダーを養成する「北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン」を作成。昨年度に文科省の「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に採択され、今年度から取り組みを始めた。

福井大では、P.E.T（陽

福井大が養成、開業医募る

電子放射線層撮影）やMRI（磁気共鳴断層撮影）を利用して臨床研究する「認知症チーム医療リーダー養成コース」（4年間）、地域の病院や診療所で高水準の治療・在宅医療を担う「地域認知症専門医師研修コース」（1年間）の2コースを設置。医学部の専門医が指導する。

現在、専門医師研修コースの5人を募集している。神経内科や精神科、脳神経外科の医師だけでなく、認知症に携わる様々な医師に参加を呼びかけている。受講無料。

問い合わせは福井大の養成プラン事務担当（077-6-61-8186）。

（堀田浩一）

福井大が省エネ改修

水道光熱費、年400万円削減

ESCO導入

福井大学は民間資金を光熱費の削減を狙うES（全5キャンパスが対象）活用して省エネルギー化CO2削減を推進した。付随して、既存設備を含め包括的な改修をし、水道・属学校や研究所を含めた的に運営管理を任せると

節約費用から対価取る事業

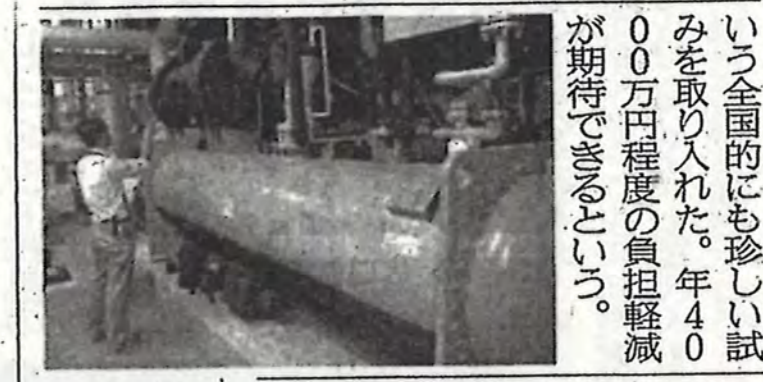
ESCO（エスコ）

エネルギー・サービス

シネス手法。1990年

・カンパニーの略で、顧客の水道光熱費を削減し、節約できた費用の一定割合を対価として受け取るビジネス手法。1990年導入は少ない。

代後半から広がりはじめた。大都市の病院や老朽化した公共施設などで導入が目立つが、北陸での導入は少ない。



医学部や付属病院がある松岡キャンパス（福井県永平寺町）、教育地域科学部・工学部の文京キャンパス（福井市）などを対象にした。事業者を公募し、三菱UFJリースと空調設備商社の東テック、オリックス・ファシリテイトズの企業グループ

福井大が松岡キャンパスに導入した高効率熱源（福井県永平寺町）

に決めた。事業者の資金で省エネ改修をするため、大学の負担はない。サービス期間は2015年度から7年間。事業者は削減した水道光熱費の範囲内で設定されるサービス料を受け取り、資金を回収する。松岡キャンパスでは空調に使う冷水や温水を作る高効率の熱源、トイレの節水器などを導入した。街路灯は水銀灯から

発光ダイオード（LED）に見込まれるという。企業グループに支払うサービス料を差し引いて5カ所の施設では年7億5000万円程度の水道光熱費がかかっていたが、約2割の削減効果がある。

福井大生「核」意識探る



サークルが調査

29日からパネル展 保有反対は51%

原爆投下日や場所 半数超「知らない」

5/27 福井

原爆の悲惨な歴史を振り返らない。福井大のサークル「ピースクリエーターズ・クラブ」が核兵器について同大生らを対象に行ったアンケート結果をまとめた。「原爆が使用された日と、落とされた二つの都市名」を問う質問では「知らない」が53%と半数を超え、「唯一の被爆国の学生でさえ、核兵器を意識していない人が多い」と浮き彫りになった（同サークル）と話している。29日から始まる大学祭（福井新聞社後援）で紹介する。（近藤洋平）

福井大生らを対象に行った核兵器についてのアンケート結果をまとめるサークル「ピースクリエーターズ・クラブ」のメンバー

同サークルは大学生の立場から社会問題の解決策を探ろうと活動。アンケートは、福井市の文京キャンパスで開く大学祭で戦後70年に合わせ開く展示会「未来へツナグ、核兵器のない世界へ」で紹介しようとして、4月下旬から今月中旬にかけて実施した。330人から回答を得た。

アンケート結果によると「核兵器に対する考え」の問いには「核兵器の保有も使用も反対」が51%と、「自衛のための保有はやむを得ないが使用には反対」32%、「必要となれば使用もあり得る」4%の保有肯定派を上回った。「戦争・紛争やテロリストによって使用されることはあると思ふか」の問いには「必ず

ある」と、「あり得る」55%と使用を懸念する回答が8割近くに上った。同サークルでは、アンケート結果を踏まえ、核兵器の現在「世界の核政策」などを調べてもらおうと展示パネルも制作した。「核兵器もたらず被害」では、本県に核兵器（広島型原爆と同規模）が落ちてきた場合のシミュレーション地図を紹介している。奥越を除く福井の大部分が「完全に被爆」され、県内全域と金沢市和実現には一人一人が核兵器を無くさなければならないという思いが燃える」としている。世界各国の核兵器保有状況を立体的にしたジオラマでは「日本がいかに核保有国に囲まれているかが分かる（同サークル）ようになっている。

工学部3年の井上大志（20）は「核兵器については、知らない人が多い『怖い世界』に住んでいる」と話す。川本拓也さん（24）は「平和実現には一人一人が核兵器を無くさなければならない」と話している。展示は31日まで。

「知らない」が53%と半数を超え、「唯一の被爆国の学生でさえ、核兵器を意識していない人が多い」と浮き彫りになった（同サークル）と話している。29日から始まる大学祭（福井新聞社後援）で紹介する。（近藤洋平）

持命職員	専門職員	職員	環境ISO	寄宿舎	機械係	電気係	建築係	施設管理係	補佐	課長	長
------	------	----	-------	-----	-----	-----	-----	-------	----	----	---

